

【調査概要】

- ①目的：中島公園の魅力アップの実現に向け、公園関係者にヒアリングを実施した。
- ②対象者
〈指定管理者〉公園緑化協会 Kitara、豊平館、児童会館、こぐま座、天文台、体育センター、道立文学館
合計8施設・事業者
〈周辺事業者〉飲食、宿泊、福祉、物販、芸術・文化・スポーツ、神社 合計17事業者
- ③聴取内容
〈指定管理者〉現状や直近の取組、今後の取組のアイデア、公園の魅力アップに必要なこと、公園関係者や周辺事業者との関係性の構築など
〈周辺事業者〉利用者動向、公園周辺にあることのメリット、公園との関係性、公園の改善点、公園の利用促進など
- ④実施期間：令和6年9月18日～10月29日

◎ 指定管理者に対する調査

○ 現状や取組

【利用者の状況】

外国人観光客の増加

- ・道内から3割、道外から6割、海外から1割の割合ではあるものの、外国人観光客は増加傾向。（豊平館）
- ・公演内容で利用者層が異なる。全体的に高齢者が多いが、子どもの割合が増加傾向。（Kitara）
- ・海外の方の利用が増えている。（児童会館/こぐま座）
- ・全体の利用者数が増え、外国人観光客と市民の利用率が同じになった。また、市民がソリ遊びをしていたが、外国人観光客も遊ぶようになった。（天文台）
- ・外国人観光客は増加傾向にある。アジア系が多く、常設展を鑑賞していく。（文学館）

【施設運営上の課題】

駐車場の配置や管理、屋外空間の利用

- ・駐車場がない。公共交通を使えばいいものの、市電、地下鉄、バスなどでは利用できる方が限られてしまう。（豊平館）
- ・駐車場について、出入口にゲートを設置することを上層部に提案したが採用されず、管理する上で難しくなっている。（体育センター）
- ・公園内に天文台の案内板が無いため、迷う人が多い。夜間に公開していることも多く、施設に来る途中であきらめて帰る人もいる。屋外スペースの使用をもう少し簡易にしてもらえるとありがたい。人はいくらでも呼ぶことができるとっており、まだまだ伸びしろのある施設と認識している。（天文台）

【直近の取組】

各施設の新しい取組、活動の縮小

- ・「日本庭園茶会」を八窓庵で2日間実施。「ゆきあかりin中島公園」は、年々規模を縮小しての開催となっており、現状では9条広場でキャンドルの点灯を行うのみに留まっている。（緑化協会）
- ・JALとの連携によりKitara専属オルガニストとJALのハンドベルチームと演奏動画を撮影し、YouTubeで公開した。JALとの連携は今後発展していく可能性がある。（Kitara）
- ・指人形スタンプラリーを行っている。3回以上観劇すると、指人形を1つプレゼントする。（児童会館/こぐま座）
- ・レンタル厨房を始めた。レストランが経営できるくらい本格的な厨房を貸室と同様にレンタルで貸し出している。（豊平館）

【今後の取組のアイデア】

ガイドツアー、若年層割引、貧困・家庭環境問題

- ・観光コンシェルジュを招いてガイドツアーを行うという意見が出ている。（緑化協会）
- ・若年層向けの割引や、雪まつりと合わせたコンサートで新規層獲得を目指している。「ファーストコンサート」など教育や福祉分野との連携を継続していきたい。（Kitara）
- ・ソーシャルインクルージョン※1に向けた活動、貧困・家庭環境問題の支援を伸ばしていきたい。（児童会館/こぐま座）
- ・外壁をプロジェクションマッピング※2、館内も写真撮影などに活用してもらいたい（文学館）

○ 公園の魅力アップに向けて

【必要なもの】

利便・案内・休憩機能の拡充

- ・トイレ（通年）、駐輪場、駐車場、総合案内所、サイネージ※3、安全柵。（豊平館）
- ・園内に段差が多いのでバリアフリーへの移行。休憩できるベンチ。（児童会館/こぐま座）
- ・円山公園のような休憩スペース。（緑化協会）
- ・施設を拡充してほしい。（体育センター）
- ・各施設が今何をしているのか分かるような公園全体の案内板やHP。（天文台）（文学館）

○ 園内・周辺事業者との連携

【地域コミュニティ推進協議会の現状】

コロナの影響により停滞

- ・コロナをきっかけに会議の開催機会が減り、協力体制が取れていない状態にある。イベント開催のお知らせや台風などの対応で臨時的な場合に、メール連絡のみに留まっている。（緑化協会）
- ・対面での会議はコロナ以降開催されていない。定期的に会議を開催すれば、より強靱な強力体制を築けると感じている。（豊平館）（文学館）
- ・以前はお祭りやイベント時に参加していたものの、人員や予算の削減により最近は参加していない。（体育センター）
- ・活動は活発ではない。イベントの提案があれば検討する。（Kitara）（児童会館/こぐま座）（天文台）

【新たな連携組織の構築】

「連絡会」の結成（実証実験）

- ・今年度、推進協議会とは別に中島公園の魅力アップに向けて新しいコミュニティ（連絡会）を結成する予定がある。メンバーは、園内の指定管理者と周辺の文化施設（渡辺淳一記念館）やホテル（パークホテル、プレミアムホテル札幌）といった少数で参加者を絞る予定。推進協議会では、公園自体との距離が離れており、前向きな参加が見込めないといったメンバーも含まれていた。中島公園に特化した近隣のメンバーにすることで、より具体的で即時性のある活動につながれると期待している。（緑化協会）

【必要なこと】

施設間連携、市内各所との連携

- ・市民向けのイベントを増やして、認知度を上げたい。大通公園、創成川イーストとリンクしたまちづくり。（豊平館）
- ・1つの施設だけでは限界があるため、施設同士の協力が必要。Kitaraでの演奏を屋外でやれば、公園全体で楽しむことができる。バイオリンの音色に合わせて星を見ることができれば、天文台としては最高の演出になる。（天文台）

【周辺事業者を含めた他施設との連携】

連携の課題

- ・民間施設との連携にあたり、場所の提供、金銭面、人員面での負担が大きいものは協力しにくい。スタンプラリーは負担が少なく協力しやすい。（Kitara）
- ・児童会館は、近隣の保育園・幼稚園の利用や、親子遠足等でお弁当を食べる休憩スペースとしての利用が見受けられるが、あくまで利用されているだけとなっている。（児童会館/こぐま座）
- ・連携体制については、周辺の民間事業者も加わる形が望ましい（天文台）
- ・園内施設とのコラボは、各自の展示内容などの点から考えると難しいと捉えている。公園全体でのイベントで協力する形であれば積極的に参加したい。（文学館）

【市内の事業者・組織との連携】

旅行会社・劇場・近隣ホテル等との連携

- ・館内で結婚式を行っている方もいるが、あくまで貸室利用なのでウェディング会社と連携してはならず、旅行会社に営業をかけて団体の入場を促している（豊平館）
- ・今後も芸術文化系の共同イベントの検討はしていく。（Kitara）
- ・こぐま座は、札幌劇場連絡会に参加しており、札幌市内の10か所の劇場と連携している。今後も演劇団体とのコラボは継続していく予定。（児童会館/こぐま座）
- ・近隣ホテルとは、相互にパンフを配架し、利用者への割引を行っている。（文学館）

※1 ソーシャルインクルージョン：社会的包摂。誰もが排除されことなく社会に参画し、共に生きていくという概念

※2 プロジェクションマッピング：建物や物体の表面に映像を投影し、実物と映像を融合して立体的な演出を行う技術

※3 サイネージ：デジタルディスプレイや看板を利用して、広告や情報を表示する手法

◎ 周辺事業者に対する調査

○ 現状や取組

【利用者の状況】
外国人観光客の増加

- ・外国人は毎日来店しており、コロナ前より増えている。6割が外国人利用。（飲食）
- ・メニュー表の多言語表記や、コミュニケーションを取れるスタッフを採用している。（飲食）
- ・年齢層は幅広い。住宅街なので周辺住民が多いが、Kitaraから来る方や、観光客も来る。（飲食）
- ・ピークは7～8月。台湾、香港、中国、韓国が多く、雪を見に来る需要はあるが、夏ほどではない。（宿泊）
- ・海外のゲストは4割で、このうちの約3割が団体旅行。（宿泊）
- ・ビジネスホテルと銘打っているが、8割ほどが観光客で家族やカップルが多い。（宿泊）
- ・ゴールデンウィーク、お盆、年末年始、クリスマスが繁忙期。連休などは利用が増える。（物販）
- ・外国人が来店することはあるものの、買わないで帰ることが多い。メニューは日本語表記のみ。（物販）
- ・外国人の利用はここ数年で増えている。簡単な英語やジェスチャーで対応。（物販）
- ・ゴールデンウィークやお盆の時期と中国が連休の時などは来館者が多い。（芸術・文化・スポーツ）
- ・パンフレットは日英中韓の4か国語、キャプションは日英中の3か国語で対応。（芸術・文化・スポーツ）
- ・現在は劇場に外国人は来ていないが、英語の字幕を付けている公演がある。（芸術・文化・スポーツ）

○ 中島公園付近という立地性

【メリット】
立ち寄りやすさ、駅近、みどり環境

- ・周辺にホテルが多く、宿泊客が立ち寄りやすく、緑が多く、環境がよい。（飲食）
- ・Kitaraが近いので、鑑賞帰りの方が来る。（飲食）
- ・公園を見下ろす眺望が優れている。眺望目的に泊まれる方もおり、リピーターもいる。（宿泊）
- ・地下鉄駅、中島公園が近いので入居したいという方も多い。（福祉）
- ・バス停が近いから利用するというお客さんがいる。（物販）
- ・中島公園で行われるイベントに参加できる。（芸術・文化・スポーツ）
- ・交通の便が良い、緑が多い、歴史性・文化性が感じられる。（芸術・文化・スポーツ）

【デメリット】
ゴミ、混雑、違法駐車

- ・周囲で若い人がゴミやたばこの吸い殻をポイ捨てする。（飲食）
- ・アクセスが不便。（飲食）
- ・花火・祭りの際は、店前にごみのポイ捨て、違法駐車をする人が多い。（物販）
- ・メーデーやマラソンがあるときは、自動車で移動しにくくなり、配達時に支障がある。（物販）
- ・中島公園は夜暗いため怖い印象。（芸術・文化・スポーツ）
- ・イベントがあると近隣の駐車場が埋まり、当館利用者の駐車スペースがない。（芸術・文化・スポーツ）

○ 公園の改善点

【園内環境】
樹木、バリアフリー、休憩施設

- ・樹木が鬱蒼としている場所があり、対応が必要である。（飲食）
- ・高齢化が進んでいるので、バリアフリー化や健康づくりという視点も重要である。（飲食）
- ・夜が暗いため夕方以降利用者が少なく、防犯面で課題がある。民間施設も進出しにくい。（飲食）
- ・子どもの遊び場がほしい。（飲食）
- ・東屋やベンチなど休憩施設が少なく、老朽化しているものが多く、園路が狭い場所がある。（福祉）
- ・歩けない児童や多動な児童のためにも車を停められるようにしてほしい。（福祉）
- ・芝生が一部剥げているので、道を作るなどの整備をして欲しい。（物販）
- ・池の水をもっときれいにしてほしい。（物販）

○ 中島公園との関係性

【これまでの関わり】
飲食イベントの参加、マップの配布、ガイドツアーの実施、フォト撮影

- ・移動販売車を出店し、飲食イベントに参加している。（飲食）
- ・オリジナルの魅力発見パンフレットとウォーキングマップを用意している。（宿泊）
- ・「中島公園散策ガイドツアー」を参加者がいるときに不定期開催している。（宿泊）
- ・飲食イベントがある際には、自社農園で自然栽培・有機栽培の野菜の販売などを行っている。（宿泊）
- ・「中島公園の四季」をテーマにフォトコンテストを毎年開催している。（宿泊）
- ・冬はスノーシュー※4、そりなどを貸し出している。道外・海外からのゲストから好評である。（宿泊）
- ・Kitaraで演奏する楽団と契約を結び、楽団員の宿泊を安くする取組をしている。（宿泊）
- ・子どもたちを芝生広場で遊ばせている。天文台の坂や鴨々川に連れて行くこともある。（福祉）
- ・撮影場所として中島公園をはじめ豊平館や日本庭園を利用している。（物販）
- ・北海道立文学館の研修生を受け入れ、収蔵物の貸出しなどを行っている。（芸術・文化・スポーツ）
- ・子ども向けの取組として、こぐま座との連携活動を行っている。（芸術・文化・スポーツ）
- ・「中島地区振興会」という組織があり、パークホテルに事務所がある。周辺事業者を中心として、そこまで活発ではないがイベントを行っている。（神社）

【これからの関わり】
イベントへの参加、飲食施設の整備、パンフレットの配架

- ・中島公園内だけではなく、鴨々川まで拡大したイベントであれば店として協力したい。（飲食）
- ・飲食に関した自社商品を取り扱えるようなイベントがあれば、前向きに参加したい。（飲食）
- ・中島公園でのイベントに協力し、地域社会と交流し、宿泊者の方にも勧めたい。（宿泊）
- ・コロナ前はいろんなイベントをやっていたが、人手の問題もあり様子見をしている。（宿泊）
- ・ゆきあかりのようなイベントをコロナ前の規模に戻してほしい。（芸術・文化・スポーツ）
- ・収益や来客の増加が見込まれるようなメリットを感じられれば参加したい。（芸術・文化・スポーツ）
- ・園内における飲食施設の整備に興味はある。（飲食）
- ・イベントや中島公園の情報を掲載したパンフレットを置くことは可能。（飲食）
- ・施設にパンフレットを置くことはでき、情報提供があれば入居者の方へも教えたい。（福祉）

○ 公園の利用促進

【ソフト事業】
ライトアップ

- ・鴨々川沿いは桜が綺麗ななので、活用した方がよい。（飲食）
- ・夜桜のライトアップや花壇の管理など、花を活用した方がよい。（物販）
- ・中島公園をライトアップする事業。公園は明るくなるし、治安も向上する。（宿泊）
- ・イルミネーション・ライトアップなど写真映えしそうなイベントの実施。（物販）
- ・菖蒲池をもっと活用した方がよい。（芸術・文化・スポーツ）

イベント・情報発信

- ・ゆきあかりのような、冬のイベントに力を入れてほしい。（物販）
- ・遅い時間までのビアガーデンなど大人が楽しめるイベント。（物販）
- ・外国人観光客が散策しているため、外国人が感じた魅力を国内の観光客向けに情報発信。（飲食）
- ・花壇やキッチンカーの出店に関するわかりやすいお知らせがほしい。（福祉）
- ・撮影許可があれば、利用者に撮影プランとしてお勧めできる。（物販）

【環境整備、ほしい機能】
駐車場、案内所、飲食店

- ・トイレや駐車場は有料でもあった方がよい。（飲食）
- ・乳幼児向けの遊具や広場、屋根付きドッグラン、駐車場。（福祉）
- ・周辺の駐車場をわかりやすく示す案内や防犯カメラの設置、照明の増設。（神社）
- ・案内所を開設し、スノーシューや歩くスキー、雪遊びグッズ等のレンタルを行えば需要がある。（宿泊）
- ・園内の飲食店は冬期間が休業となるため、冬も利用できる飲食店があるとよい。（物販）

※4 スノーシュー：雪上を歩くために靴に装着する歩行具で、冬のアウトドア活動や雪山登山などで使用される。

1 魅力アップコンテンツ試行運營業務

■ 本業務の目的

- 公園関係者等と連携しながら、市民や国内外からの来訪者のニーズに応え、中島公園の魅力を最大限に活かした『魅力アップコンテンツ』を試行し、参加者等の意見を把握する。

■ 全体スケジュール

	8月	9月	10月	11月	12月
(1) 中島公園における『魅力アップコンテンツ』の試行実施					
①実証実験の実施準備について	コンテンツ等の素案検討 ※コンテンツ、情報発信、役割検討	調整 ※役割分担、実施計画、機材等の確認	調整		
②実証実験の実施について		情報発信	本番実施	振り返り	
③実証実験の開催結果の検証について			アンケート作成→実施	集計・分析	反映
④連絡会の開催		連絡会		連絡会	
(2) 委託者との打合せ協議	打合せ	打合せ	打合せ	打合せ	打合せ
(3) 報告書の作成				報告書	12/6工期

2 実施準備

■ 地域特性の整理

- 中島公園を札幌市のセントラルパーク的総合公園と位置づけ
- 現在の中島公園には、自然が創り出す豊かなみどりのほか、札幌の歴史的資源である豊平館や八窓庵、音楽コンサートホールKitara、天文台、子ども人形劇場・こぐま座、文学館など様々な機能をもつ。
- 公園周辺には富裕層も訪れるホテルも建設され、中島公園が札幌の都市ブランドの形成につながる重要な公園である。

■ 園内関係施設や周辺事業者等との調整（「連絡会」の開催）

- 園内の各施設や周辺事業者のほか、本業務に参加する関係者を集めて「連絡会」を開催し、コンテンツの内容や情報発信について調整
- 「連絡会」においては、相互のつながりを深めるとともに、普段それぞれが感じている中島公園の課題や改善策等を共有し、今後の魅力アップに役立てる

■ 情報発信

媒体	掲示・配架先	内容
チラシ(2, 200部)	市内ホテル・観光案内所等	試行コンテンツ一覧・概要
タブロイド	北海道新聞『さっぽろ10区』	試行コンテンツ概要記事
SNS	Facebook・Instagram	各事業者・業務受託者アカウント

3 コンテンツ概要

■ 名称

『秋の中島公園
コミュニティ・フェスタ』

■ 日程

- 令和6年10月24日(木)
- 令和6年10月25日(金)
- 令和6年10月26日(土)

TIME TABLE												
	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00
10/24 木		アート ガイドツアー			観光 ガイドツアー		お散歩 ガイドツアー				豊平館ミニ コンサート	
		キッチンカー										
		マルシェ										
10/25 金		アート ガイドツアー			観光 ガイドツアー		お散歩 ガイドツアー					
		ヨガ体験										
		キッチンカー										
	マルシェ											
10/26 土		アート ガイドツアー			観光 ガイドツアー		お散歩 ガイドツアー					
		ヨガ体験			キッズ ワークショップ							
		キッチンカー										
	マルシェ											

コンテンツ	内 容
ガイドツアー	・公園内の彫刻をめぐるアートツアー60分 ・市民も魅力を再発見するお散歩ガイドツアー60分 ・観光客も楽しめる観光ガイドツアー90分
キッチンカー	・札幌コンサートホールKitara、自由広場それぞれで開催 ・温かい飲み物や焼きたて・作りたてのこだわりフードを提供し、レストエリアで飲食可能
マルシェ	・札幌コンサートホールKitara、自由広場それぞれで開催 ・お散歩する犬や飼い主に楽しんでもらう衣類やおやつ、雑貨などを販売 ・新たな楽しみ方としてドローン体験を実施
ヨガ体験 25日・26日のみ	・園内の「芝生広場」で開催 ・秋晴れの中、自然の中でヨガを楽しんでもらう
キッズワークショップ 26日のみ	・児童会館前で実施 ・木のパーツに紐を通してそれぞれ自分好みのマリオネットを作ってもらう
コンサート 24日のみ	・豊平館でヴァイオリンとピアノのコンサート60分 ・ワンドリンク付きで椅子に座ってゆったりと音楽を楽しんでもらう

■会場レイアウト

- 右図「青丸印」4箇所に看板を設置
- キッチンカーとマルシェは、24日はKitara前で、25日・26日は自由広場で開催
- ガイドツアーは、パークホテルを出発点として開催



4 当日の様子

■ ガイドツアー



■ キッチンカー・マルシェ



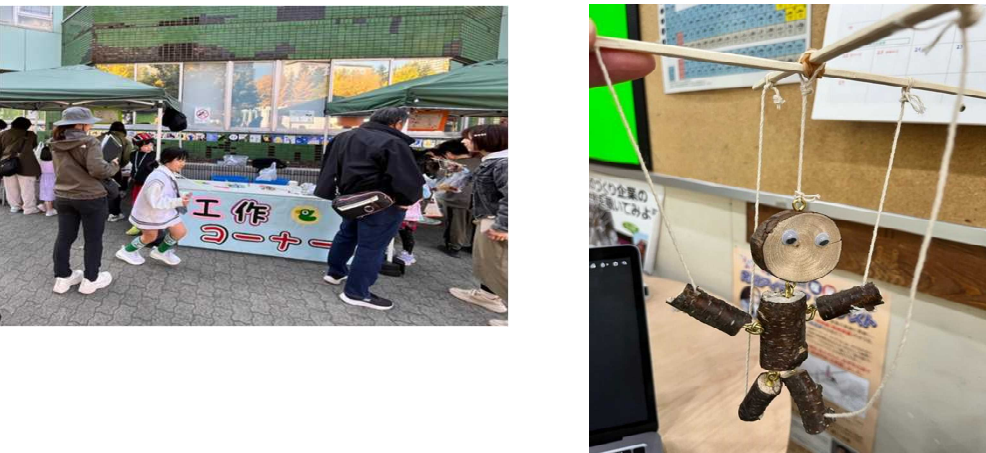
■ ヨガ体験



■ 豊平館ミニコンサート



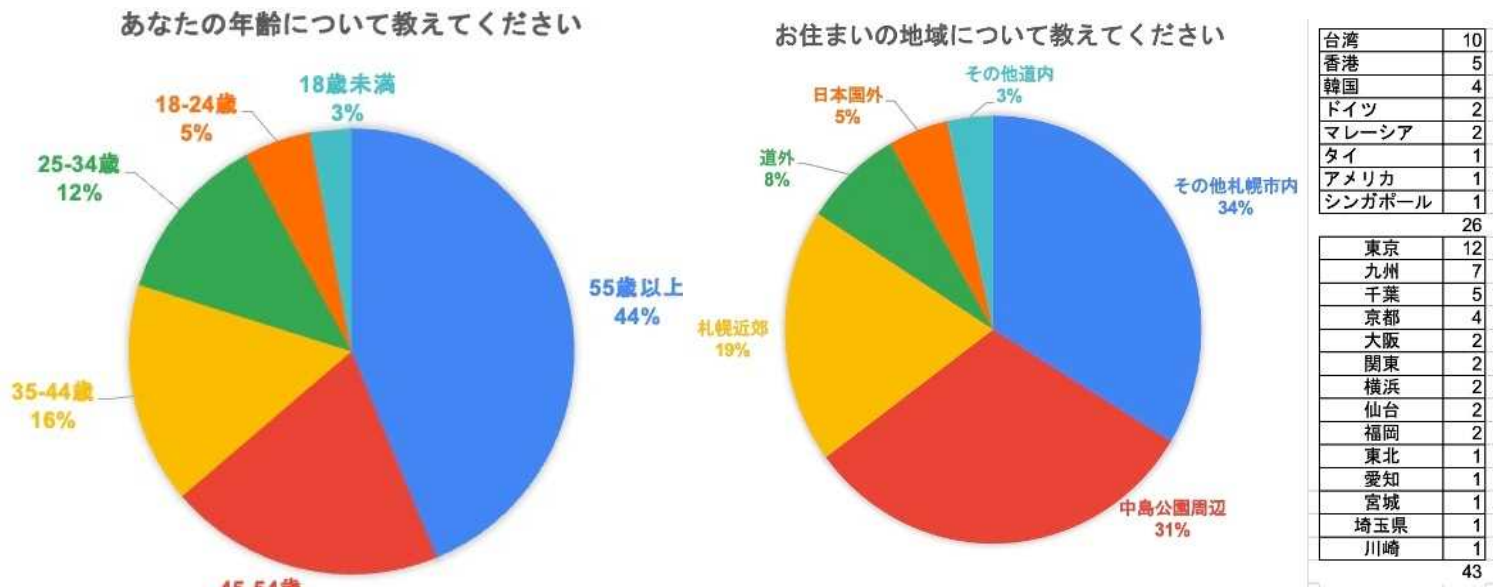
■ キッズワークショップ



5 アンケート結果

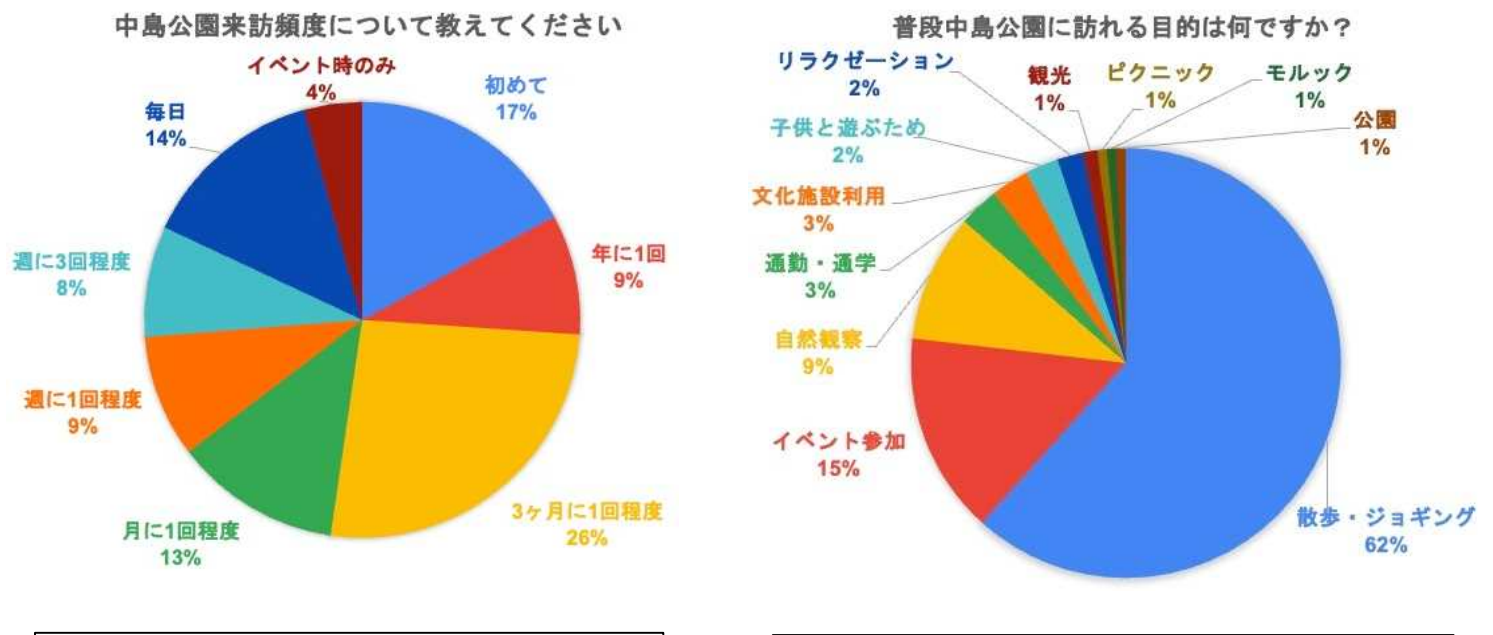
【調査概要】

- ①目的：中島公園の魅力アップを実現するため、来園者にアンケートを実施した。
- ②回答手法：紙又はQRコードによるWEB回答。なお、外国人来園者にも対応できるよう英語も併記した。
- ③回答数：560件
- ④実施期間：令和6年10月24日～10月26日



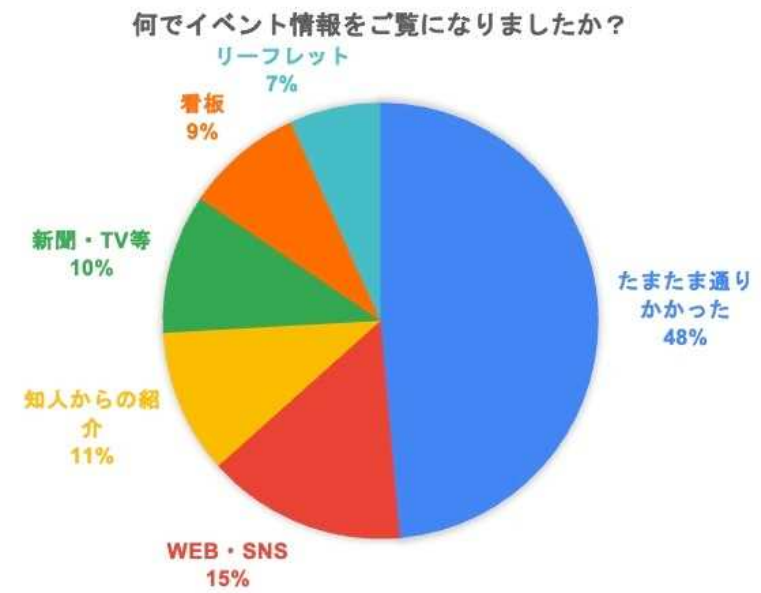
・年齢層が高い方から降順に構成比が並んでいる

・札幌市民は65%、外国人は5%

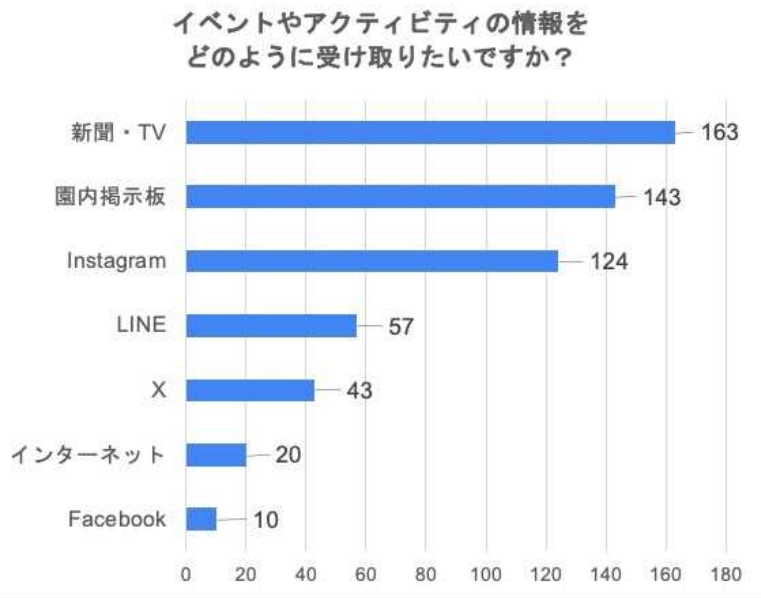


・「3ヶ月に1回程度」が最も多く(26%)、次いで「初めて」が17%、「毎日」が14%と一定数存在
・平日と週末で%はほぼ変わらず

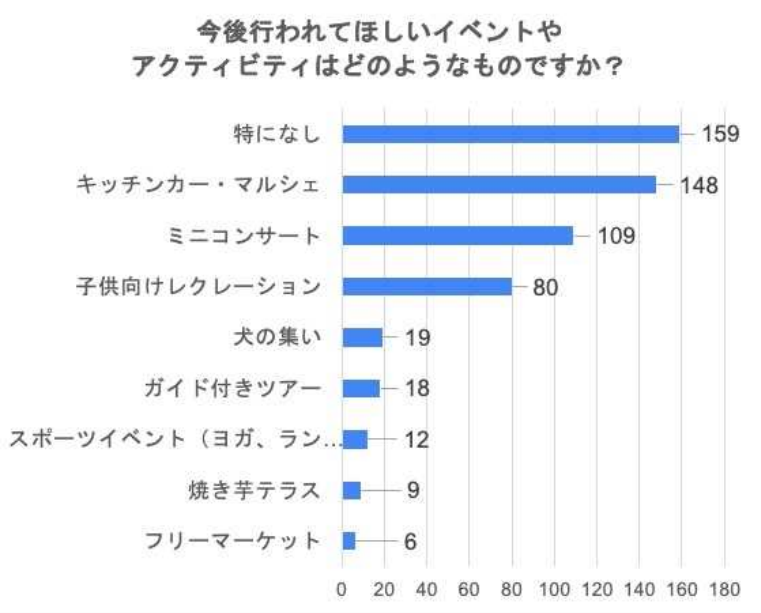
・来訪頻度が高い方ほど、「散歩・ジョギング」や「自然観察」を選択した



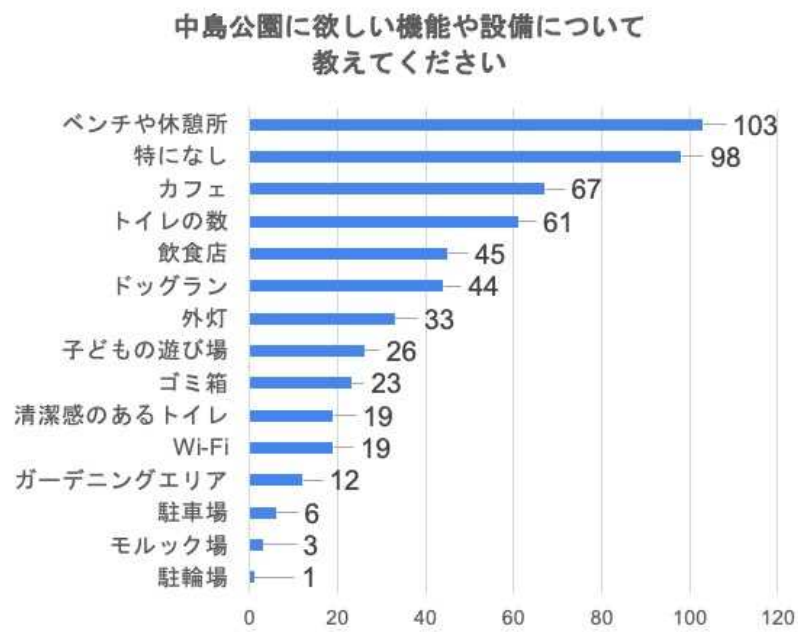
・チラシを2,200枚配布したが、「WEB・SNS」の方が効果が高かった
・「たまたま通りかかった」が半数を占めていることから、園内掲示板など、公園内における公園情報の発信も重要と考えられる



・本アンケートの回答者の年齢層が高いからか、「新聞・TV」が最も多かった
・SNSの中では「Instagram」が最も多かった。中島公園の景観の良さ、写真映えを考慮すると、「Instagram」との相性がよいと考えられる。



・「キッチンカー・マルシェ」が最も多かった。公園内に飲食機能が少ないことも影響している可能性がある。
・「ミニコンサート」の希望も多い。特に、今回の豊平館ミニコンサートの参加者からは、再度実施してほしいとの声が多く聞かれた。
・子育て世代からは、「子供向けレクリエーション」の希望が多かった。子どもが利用・参加できるイベント等は、子育て世代にとって重要である。



・本アンケートにおいても「ベンチや休憩所」が最も多かった
・次に「カフェ」や「飲食店」も多く、飲食機能が求められている
・トイレに関する希望も多く、「トイレの数」とともに「清潔感のあるトイレ」を求める声が多かった

■ 主な自由意見（128件）

- ・イベント増やす。キッチンカー増やす
- ・冬に子供が遊べる施設が欲しい
- ・ガイドツアーを体験することで、知らなかった設備や歴史を知ることができた
- ・スタバ入れてほしい
- ・このままがいい
- ・中学生以上でも遊べるアスレチックがほしい
- ・ごはん屋さん（安い）を作してほしい
- ・外灯ほしい。ウルトラマンショーしてほしい。
- ・こういうイベントを増やしてほしい
- ・ちょっとしたカフェがほしい
- ・カラスが多い
- ・都会の中の素敵な公園であってほしい
- ・公園の景観が素晴らしい特に秋。コンサート、本当に素晴らしかった！！！！
- ・景観を楽しめるカフェがあればいいと思います
- ・建造物よりはみどりや水辺を生かした場所であってほしい。都会の中にあって貴重な空間だと思います。
- ・どうしても大通公園に比べて見劣りするが、とっても魅力的な場所だと思う
- ・今日の夜のような気軽に行けるコンサートを豊平館ですと、みんな豊平館に来やすいと思います。今夜はとても楽しかったです。定期的にすると平日でもくると思います。
- ・緑がこのままきれいであってほしい
- ・外国の木を減らしてほしい
- ・人が多く来すぎないところが良い
- ・夜くらいから明るくしてほしい
- ・休めるところを増やしてほしい。食事の場所も増やしてほしい。
- ・木が大きいから切った方が良い
- ・このまま平和な公園であってほしい
- ・きれいなトイレ、授乳室がたくさんあると嬉しい
- ・子供と遊べるところが欲しい
- ・駐車場がないから行きづらい
- ・夜の場内を明るくして安全にしてほしい
- ・いろいろイベントや設備が増えても自然はこのままキープしてもらえたら、と思います
- ・中島公園さいこう！
- ・紅葉のライトアップはすごく良いと思います

6 各コンテンツ提供者の声

■ ガイドツアー

- ・天候にも恵まれ、告知期間が少なかったにも関わらず多くの人々が参加してくださり、活気がありました。ガイドツアーでは、参加していただいた全員にとって新たな発見があり、より深く理解していただくことができました。特に、歴史的な背景や地元の人しか知らないような穴場スポットは、参加者たちの興味を引き、札幌に対する愛着を深めることにつながったと考えられます。今後、創成イーストや二条市場などをつなげて、歴史的な場所を巡るツアーを企画できたらいいと思います。
- ・時代とともに変わってきた経緯のわかりやすい掲示物があると面白いのではと思います。また、公園内のベンチや東屋を増やすことで、より快適に過ごせる空間になるのではないのでしょうか。ニューヨークのセントラルパークのように、ベンチや休憩スペースが充実している公園を参考に、中島公園もより多くの人々が利用しやすい公園に改善できればと感じました。福岡の大濠公園にあるスターバックスコーヒーは水辺の景色と相まって市民から好評を得ており、中島公園も同様の施設があれば、より多くの人々に利用されると思います。

■ キッチンカー・マルシェ

- ・告知期間が短かったため、SNSでの情報拡散が十分に行えず、参加者数が伸び悩んだという点は課題として挙げられます。今後のイベントでは、中島公園の公式SNSを立ち上げ、イベント情報を積極的に発信していけるいいのではと考えています。
- ・地域の人々にとって公園は、単なる憩いの場ではなく生活の一部であり、愛着のある場所であると気づかされました。そのため、中島公園も、地域の人々が主役となり、歴史や文化を大切にしたい心に響くようなコンテンツを作り出し、愛着を持って利用できるよう場所にしていけるといいのではと考えています。地域の企業に協賛してもらいベンチを設置するなど、地域の人々の意見を聞きながら、公園をより良くしていくための取組はいろいろあると可能性を感じています。
- ・ドローン体験コーナーや雪を作る機械を用意したところ、興味を持ってくださった方がいらして、特に外国人の方から関心を集めました。中島公園には外国人観光客が多く訪れていること、そして、気軽に立ち寄れるコンテンツが人気であることを実感しました。

■ ヨガ体験

- ・北海道での10月末のヨガというイメージがまだ定着していないなど、いくつかの課題があったものの、参加者からの反響はとても良かったです。今回、公演の芝生の良さをすごく実感できたので、中島公園でのヨガイベントを継続的に開催したいと考えています。SNSを活用した広報や、ターゲット層に合わせた情報発信の重要性を感じたので、今後はより効果的な活用ができると良いと考えます。

■ キッズワークショップ

- ・中島公園に児童会館があるという環境、資源を有効活用することで、多くの市民や観光客を取り込み公園全体の魅力アップにつながると思います。魅力的な環境の中でコンテンツを行うことが、やがて多くの人々を魅了し、来訪者の増加につながり、札幌のセントラルパークへの発展に大きく貢献するものと考えます。
- ・キッズワークショップの意義として、遊びの中に学びを取り入れることで子どもたちの学習意欲を高め、他の子どもたちと一緒に活動することで社会性や協調性を養うことができます。また、自然の中で遊ぶことを通して、子どもたちに環境問題への関心も高め、持続可能な社会の実現に向けた意識を育むこともできます。子育て中の親にとっては、安心して子どもを遊ばせられ、幾分か負担軽減にもなるのではないのでしょうか。
- ・今後、子ども向けコンテンツを実施する場合、ワークショップや自然観察会、清掃活動や植樹活動などが考えられます。また、地域住民にも参加いただくことで、世代間交流を促進し、地域コミュニティの活性化にも貢献できると思います。なお、子ども向けのため、十分な安全対策を講じることや、年齢層を考慮したコンテンツ内容とすることも重要です。

■ 豊平館ミニコンサート

- ・告知期間が短く集客について不安を抱いていたものの、予想以上に多くの方が来場してくれました。次回以降があれば、ターゲット層を絞り、テーマ性のあるコンサートにすることで、より多くの人に楽しんでもらえるのではないかと考えています。10月は日が暮れるのが早く、特に子ども連れの人にとっては参加しにくい時間帯だったため、今後は時間帯を工夫する必要があるそうです。キッチンカーなどと連携して来場者が楽しめるようなイベントを企画することで、より多くの人に来場してもらえるのではないかと感じました。

7 中島公園魅力アップコンテンツ試行運営連絡会

【目的】
『秋の中島公園 コミュニティ・フェスタ』の開催内容を情報共有するとともに、普段感じている中島公園の課題や改善策などについて意見交換を行い、今後の魅力アップに役立てる。また、対面で開催することにより、コミュニケーションの場とし、相互のつながりを深めるきっかけとする。

■ 主な出席者

札幌市
札幌市公園緑化協会（中島公園管理事務所）
札幌コンサートホール Kitara
中島児童会館/こども人形劇場こぐま座
中島体育センター
札幌市天文台
北海道立文学館
渡辺淳一文学館
札幌パークホテル
プレミアムホテル中島公園札幌
札幌彫刻美術館友の会
各種コンテンツ提供者など

■ 連絡会の様子



■ 第1回連絡会

- 日 程：令和6年10月3日
- 場 所：北海道立文学館 会議室
- 主な議題：『秋の中島公園 コミュニティ・フェスタ』の開催概要について
 - ：大通公園・中島公園あり方検討会について
 - ：中島公園地域コミュニティ推進協議会について
 - ：自己紹介・意見交換
- 留意事項：コロナ禍後に関係者が一同に介する場としては、初めての機会になった。

■ 第2回連絡会

- 日 程：令和6年11月8日
- 場 所：北海道立文学館 会議室
- 主な議題：『秋の中島公園 コミュニティ・フェスタ』の開催結果について
 - ：情報発信の課題と今後に向けた展望について
 - ：意見交換
- 留意事項：関係者が定期的に集まれる場やコーディネーター役は非常に重要であり、継続して開催することに意義があることを確認した。

■ 主な意見

<園内施設関係者>

- ・中島公園は札幌を代表する公園であり、場所や施設によって様々な特色を感じる。コロナ収束により、インバウンドや国内からも多くの観光客が訪れるようになってきた。コロナ以前は中島公園地域コミュニティ推進協議会というものが行われ、各指定管理者の方々と協議の上で利活用を考え、雪あかりなどのイベントを開催してきた。また連携して利活用について積極的に考えたい。
- ・事前に聞いていたよりも大きく企画されていたことを知り驚いている。
- ・私の施設も広報・宣伝が今後の課題だと思っている。
- ・地域コミュニティ推進協議会は人手、お金、準備の問題などあるが、それぞれの事情を聞きながら参加しやすい形を再構築していく必要がある。
- ・地域コミュニティ推進協議会がコロナの時から集まれなくなってフェードアウトしてしまった。またどうやって再構築していくのかは課題だと思っていた。
- ・施設単体では発信力が弱く、ターゲットも広がっていかないので、みなさんと知恵を絞りながら、イベントを行えると良い。
- ・事前に情報が共有されれば、タイアップすることや上映を入れるなど、様々な企画が考えられるかもしれない。
- ・外国人親子の利用が増えている。言葉はわからなくても、楽しんでいる様子が見られる
- ・NETFLIXのドラマで、特にアジア人から人気になった。ポテンシャルがあり、ソリや歩くスキーなど冬も楽しむ素材もあり、コンテンツは揃っているので、アイデアを持ち寄ればいいのではと感じる。
- ・一過性ではなく、このような連携が年に1回でもあると顔もわかるし、この部分を一緒にやりましょうというような協力ができる。魅力的なコンテンツはいっぱいあるので、その強みを活かしていくべき。今回のイベントなどがわかりやすくて良いかもしれないと感じた。
- ・お恥ずかしい話、公園で迷ったことがあるので、コアなところに目立つ案内板があると助かると思う。
- ・それぞれいろんな感じ方がある中で、賑わいを望む声もあれば、鳥も自然も大事に静かにそのままを望む声もあり相反する価値観がある。人が集まることを嫌がる人もいる中で100%満足させるのはなかなか難しく、お互いどこか妥協点で、気持ちよく使ってもらえるか方向を探りたい。
- ・いろいろなことを含めての実証実験だったので、今後の検討材料になったのではないかな。全部のコンテンツに興味がある人は少ないと思うが、どこに興味があるのかを探るという意味ではすごく価値があるものだと感じる。
- ・たくさんのコンテンツをまとめるのは難しいので、年間を通してそれぞれの施設との調整をして情報発信できる枠組みが作れるような調整役という一つの立場もあっていいのではと感じた。

<周辺施設関係者>

- ・地域コミュニティ推進協議会の活動で感じていた課題は発信力。雪あかりイベントの時は、頻度としては年に2～3回、メールで意見を募るということはあるが、意見交換はあまりなく、内容を詰めていく時間がなかなかとれなかった。
- ・ゲストの45%が海外からであり、団体も多いが個人でも関東からと同じくらいおり、ゆとりを持って滞在している。観光でふらっと何も決めずに考えずに行動する人も多く見かける。海外の方は朝方のマルシェで野菜を買う人が多く、朝食としてミニトマトなどを食べながら、「これからどこに行こうかな」とゆっくり歩いていくようなイメージである。
- ・国によって特徴があり、日本政府観光局（JNTO）のほか、台湾はYouTube、韓国ならNAVERなどで検索されることが多い。
- ・雪がチラチラ降る中でスキーを滑る外国人のインスタグラムを見たことがある。あれを見ると、世界中から集まってくる可能性がさらに広がると感じている。
- ・通勤時に足元を見ると犬のフンがたくさんあったりすることもあるので、良い思いをしていない人もいると想像している。
- ・今回のイベントについて、SNSで告知したり、パンフレットを置いたところ、お客様の声としては、行ってみたいが時間がない、キッチンカーも場所的に距離があって難しい、ということ聞いた。
- ・ライトアップのイベントが一番集客的に大きかったので、それとリンクできると良かった。時間帯が違ったのもあるが、同じ時期だっただけに、連携がなかったのはもったいないと感じた。

<各種コンテンツ提供者など>

- ・創成イーストでは、古き良き、人情味を感じられるような雰囲気や世界観、見え方を大事にしている。世界観込みで楽しんでもらう方が質は高まるのかなと感じる。
- ・札幌市ではワンちゃんとお出かけできるイベントが少ないと感じており、飼い主さんもワンちゃんも一緒に楽しめるイベントが増えたらいいなと思っている。綺麗な公園でルールを守りながら楽しめるようなものを作っていきたい。
- ・地域の事業者に出店いただき、地域の人々が好むものを地域のストーリー性を持って出すことで、一層喜んでくれる、満足してくれるのかなと感じる。
- ・言葉の問題は課題ではあるが、英語や中国語を用意して100%変換したとしても、満足度が100%というわけではない。今できることは、完璧な人材や言語でなくていいので、地元の人と触れ合える体験型の何かが提案できればいいのではないかな。純粋に国際交流は楽しいはずであり、それができるのは中島公園ではないかと思っている。
- ・民泊を運営しているが、そこで感じることは、アジア人やアメリカ人が多く、皆コミュニケーションを求めている、食事で交流するうちに友達になって一緒に出掛けて一緒に帰ってくることもある。通じ合うのが楽しいということは万国共通である。

8 総括

ア 情報発信

- ・公園の魅力を伝えるため、SNSの活用は有効である。中島公園の景観の良さや写真映えを考慮すると、特に「Instagram」との相性がよい。
- ・「たまたま通りがかる来訪者」も少なくないことから、イベント情報などを伝える園内掲示板など、園内で情報をキャッチアップできる工夫も効果的である。この場合、外国人向けに多言語化に対応した方がよい。
- ・各施設においても、単独での情報発信に課題を感じており、やはり一括的な発信が切望された。

イ 園内に欲しい設備・機能

- ・アンケート結果を見ると、「ベンチや休憩所」が最も多く、「カフェ」や「飲食店」も上位である。
- ・「トイレの数」や「清潔感のあるトイレ」を望む声も多く、自由意見においても「トイレ」に関する記載が散見された。一般的な公園トイレというより、清潔感を感じられるようなきれいなトイレが求められている。

ウ 魅力アップにつながるコンテンツ

- ・今後のイベントとして、「キッチンカーやマルシェ」、「ミニコンサート」、「子供向けレクリエーション」が期待されている。飲食機能が少ないこと、中島公園は音楽と相性がいいこと、子育て世代にとっては子どもが遊べる場所が切実であることなどが理由として挙げられる。なお、飲食機能については、常設店の希望も多い。
- ・ガイドツアーについては、参加者数自体は少なかったが、造詣を深めながら歩くことで中島公園の再発見があり、愛着を深めたりファンを増やしたりする効果があると考えられる。
- ・各施設に対してイベント開催日を早めに伝えることにより、各々が同日程で独自企画を検討できる可能性がある。
- ・同時期に開催されたライトアップイベントは、マスコミが連日取り上げたこともあり、集客力が非常に大きかった。豊平館ミニコンサートも夜に開催したが、参加者の満足度が極めて高かったことから、夜のイベントも新たな魅力の掘り起こしにつながる可能性を秘めている。

エ 園内及び周辺施設の連携体制

- ・地域コミュニティ推進協議会がコロナ禍以降停滞していたため、連絡会の開催は非常に効果的であった。対面で顔の見える関係を築け、連携・協力しやすくなるとの声が多数聞かれ、議論も活発であった。一過性ではもったいなく、継続すべきとの声も聞かれた。
- ・マネジメント体制にも様々な形態があるが、いずれにの体制においてもコーディネーターの立場・役割が重要である。

1 上野恩賜公園（東京都）

- 事例のポイント
- 公園周辺、住民との連携
 - 園内施設の連携組織と各種イベント
 - 民間活力の導入（設置管理許可制度※1）

- 【公園概要】
- 概要：2023年に開園150周年を迎えた日本の都市公園を代表する都立公園。公園の内外に歴史的建築物や文教施設が多数あり、一帯が文化・芸術の集合地域を形成している。
 - 所在地：東京都台東区上野公園
 - 面積：53ha
 - 開園：1873年
 - 運営者：東京都（直営）
 - 園内施設：東京文化会館、上野の森美術館、日本芸術院会館、国立西洋美術館、国立科学博物館、東京国立博物館、東京都美術館、上野東照宮、韻松亭、上野精養軒、スターバックスコーヒー、EVERYONEs CAFE、上野グリーンサロン、上野恩賜公園野球場、ほか

【公園周辺、住民との連携】

- パークミーティング
- 東京都の都市公園では、R5より地元自治体や地域住民、民間事業者等の多様な主体との継続的な「パークミーティング」を設置
 - 上野恩賜公園では、園内や近接の文化施設、台東区役所、地元観光関連団体等との連携を強化することとしている。
- 上野桜守の会
- 江戸時代より親しまれてきた上野の桜を守り続けるため、地元住民が中心となり、都民と行政及び関係団体等が連携し、2006年に発足。活動会員の年会費は1,000円、その他、協賛会員や役員により運営。
 - 上野の桜の「保全活動」「普及啓発活動」「更新活動」「募金活動」など。ほぼ毎年、どんな桜がどこにあるかわかる「上野公園桜マップ」を作成。



「都立上野恩賜公園案内図」公式HPより

- 園内組織：上野の山文化ゾーン連絡会、Museum Start あいうえの
- 利用者の動向：
来場者数 / 4,730千人（R4）、5,070千人（R5）
四季別 / 春と秋が多い、夏と冬が少ない
外国人 / 近年増加、5割程度
- 駐車場：バス専用19台、身障者用6台



「上野公園植物のマップ」公式HPより

【園内施設の連携組織と各種イベント】

- 上野の山文化ゾーン連絡会
- 台東区（主催）と上野の山の文化施設などで組織される協議会。相互に交流、連携を深めることにより、上野の山を芸術・文化の拠点として発展させることを目的に、1990年に設立。
 - 毎年9月～11月に、加盟施設・団体による共同イベント「文化ゾーンフェスティバル」を開催。その他、上野の山散策ガイドツアー（近現代建築物を巡るなど）、寛永寺僧侶と歩く上野公園巡り、展覧会、コンサートなどを開催。
- <加盟団体>
- 東京国立博物館／国立科学博物館／国立西洋美術館／東京藝術大学／国立国会図書館 国際子ども図書館／東京都美術館／東京都恩賜上野動物園／東京文化会館／東京都東部公園緑地事務所／（公財）文化財保護・芸術研究助成財団／上野の森美術館／寛永寺／東日本旅客鉄道（株）／東京地下鉄（株）／台東区 ほか

■ Museum Start あいうえの

- 上野公園に集まる9つの文化機関が連携し、全ての子どもたちが、文化やアートを紹介して「社会に参加しつながりを持つこと」を推進するラーニング・デザイン・プロジェクト。文化を介してコミュニケーションの機会を作り、平等性、多様性を肯定することなどを目的に、2013年にスタート。
 - 小学生～高校生を対象に、年に複数回の無料プログラムを実施。多様な子どもたちにアクティブ・ラーニングのプログラムを提供（2024年度は「ミュージアムGO」「あいうえのmeet」「みるラボ：伝 方を考える」など）。
- <主催：共催>
- 東京都／公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都美術館／東京藝術大学、上野の森美術館、恩賜上野動物園、国立科学博物館、国立国会図書館 国際子ども図書館、国立西洋美術館、東京国立博物館、東京文化会館

【民間活力の導入（設置管理許可制度）】

- スターバックスコーヒー/EVERYONEs CAFE
- 東京都が建物を整備し（公財）東京都公園協会に管理を許可の上、同協会が民間事業者を公募する形で2012年に開業。事業者は収益のうち数%を協会に支払い、協会は受け取った収益を公園整備に充当している。



上野で楽しむ「芸術の秋」
上野の山文化ゾーンフェスティバル
"UENO NO YAMA" Art Festival
2024.9 SEP -11 NOV.



「たいとう文化マルシェ」公式HPより



「あいうえの」公式HPより



スターバックスコーヒー



EVERYONEs CAFE

※1 設置管理許可制度:都市公園法第5条に基づき、公園管理者以外の者に対し、公園内における施設の設置や管理を許可できる制度
目安は10年

2 大濠公園（福岡県）

事例のポイント

- ・池泉回遊式庭園、日本庭園の管理
- ・市民ボランティアと園内施設の連携組織
- ・民間活力の導入（設置管理許可制度、Park-PFI※2）

【公園概要】

- ・概要：博多湾の入り江を整備した全国有数の水景公園。福岡市のほぼ中央に位置する。池の周囲約2kmの周遊道や野鳥の森があり、四季折々の花や景色の中、ジョギングやサイクリング、バードウォッチングが楽しめる。
- ・所在地：福岡県福岡市中央区大濠公園
- ・面積：39.8ha
- ・開園：1929年
- ・運営者：福岡県
- ・指定管理者：(株)西鉄グリーン土木
- ・園内施設：日本庭園、ボートハウス大濠パーク、大濠公園能楽堂、福岡市美術館、大濠テラス、スターバックスコーヒー
- ・園内組織：大濠公園をよくする会
- ・利用者の動向：来場者数 / 不明
四季別 / 春と秋が多い
外国人 / 5割以上
- ・駐車場：99台（3時間220円、以降1時間160円）



「大濠公園マップ」公式HPより



「大濠公園全景」公式HPより



「日本庭園」公式HPより

【池泉回遊式庭園、日本庭園の管理】

■ 大濠 西公園管理事務所

- ・パークセンター機能を持つ施設。スタッフは統括（部長）1名/所長1名/副所長2名/植栽担当1名/施設担当1名/巡回班3名/清掃班6名の中で、シフト制により8～10名程度が常駐するほか、日本庭園にも事務所があり5名程度が常駐。コンシェルジュ機能はない。

■ 今後の展開

- ・日本庭園近くの武道館を取り壊し、美術館を建設する構想があり、その際に日本庭園に「案内所」を設置する構想がある。

■ 池泉回遊式庭園、日本庭園の日常管理

- ・日常清掃は、スタッフ1名が毎日作業するほか、委託業者が週2～3回勤務し対応（R6より開始）
- ・樹木や芝等は、委託業者が休園日に点検、剪定、芝刈り等を実施
- ・日本庭園にある池は、委託業者が定期清掃（3回/年）を実施するほか、施設担当者が定期的に現地確認のうえ藻の抑制剤の投与を実施

【市民ボランティアと園内施設の連携組織】

■ 大濠公園をよくする会

- ・オンリーワンの大濠公園にするため、開園80周年を契機に設立されたボランティア組織（任意団体）。園内の各施設も参加し、連携組織としての一面もある。入会費用は無料、会員数は1,400人を超える。なお、一部の施設が入会していないため、情報共有にタイムラグが発生することがある。
- ・活動内容：清掃活動（1回/月）、啓発活動（2回/月）、報告会（1回/年）
- ・組織は「運営世話人会」「各活動委員会」「特別委員会」から構成
- ・各活動委員会（ボランティアは原則いづれかに入会）

1) ゴミ、清掃 マナーアップ委員会	2) 犬・猫・その他の動物問題 マナーアップ委員会
3) 通行レーン（歩行者・ジョギング・自転車）マナーアップ委員会	
4) 魚釣り・池 マナーアップ委員会	5) 花壇・緑地帯 マナーアップ委員会
6) 安全・安心・風紀対策委員会	7) アメニティーイベント委員会



「ゴミ・清掃 マナーアップ委員会」



「花壇・緑地帯 マナーアップ委員会」



「犬・猫・その他の動物問題 マナーアップ委員会」

いずれも公式HP

【民間活力の導入（設置管理許可制度、Park-PFI）】

■ スターバックスコーヒー

- ・2010年に設置管理許可制度により公園内で初めて民間活力を導入した飲食施設。事業者で施設の設計・建設・運営を行い、公園管理者が設置を許可

■ 大濠テラス

- ・2020年にPark-PFIにより開業した複合施設。1階は日本茶（八女茶）と地域の食材を使った定食やデザートを提供する『&LOCALS』、「日本酒」と芸術性が高く機能的にも優れた酒器「酒碗」をプロデュース・販売するギャラリー『TENSUDO OHORI PARK』が入居。2階はレンタルスペース。
- ・大濠公園の池や緑を眺めながらくつろげる空間を提供し、来園者を日本庭園へ誘導することを目指している。
- ・インバウンドの増加を背景に、日本庭園の観光価値向上と南側エリアの活性化を目的として、八女茶をテーマとした飲食機能を有する常設施設を公募
- ・「第29回福岡市都市景観賞」「第7回福岡県木造木質化建築賞」を受賞し、イメージアップに寄与している。



「スターバックス」公式HPより



「大濠テラス」公式HPより

※2 Park-PFI:「Park-Private Finance Initiative」の略。公募設置管理制度。公園内に飲食店や売店等の利便向上に資する公募対象公園施設の設置と、その収益を活用して園路や広場等の一般の公園利用者が利用できる特定公園施設の整備・改修等を一体的に行う者を公募により選定する仕組み。目安は20年。

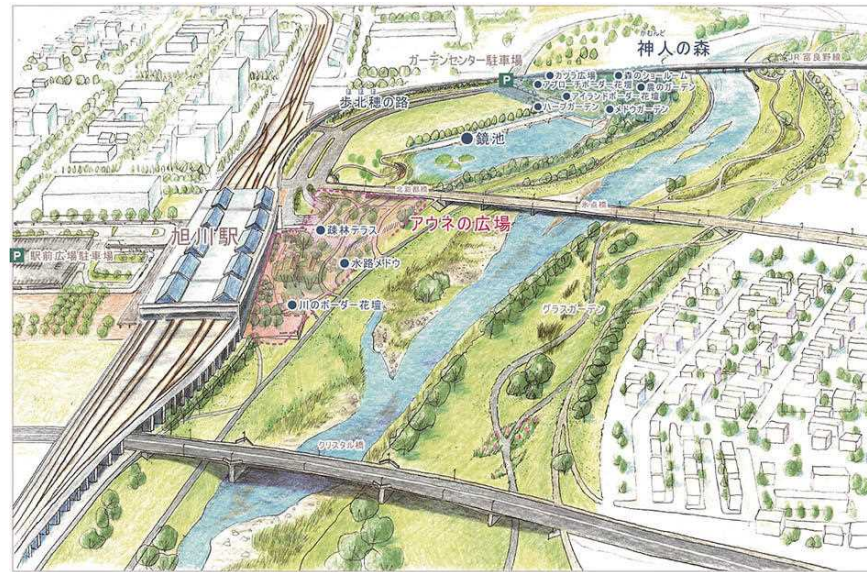
3 あさひかわ北彩都ガーデン（北海道旭川市）

事例のポイント

- ・集約化されたパークセンター機能
- ・市民との協働によるガーデン管理
- ・様々な主体によるイベント・魅力づくり

【公園概要】

- ・概要：JR旭川駅に直結したまちの中心部にあるガーデン。都市計画大賞・土木学会最優秀賞のほか、国際的な造園賞である「IFLA ASIA-PAC LA AWARD 2017」の最優秀賞を受賞するなど、海外でも高い評価を獲得している。
- ・所在地：北海道旭川市宮前2条1丁目
- ・面積：12ha
- ・開園：2015年
- ・運営者：旭川市
- ・指定管理者：旭川市公園緑化協会(右岸) グリーンテックス㈱(左岸)
- ・園内施設：ガーデンセンター、SHOP Kitasaito Garden
- ・園内組織：北彩都ガーデンサポーターの会、あさひかわ北彩都ガーデンファンクラブ



「北彩都ガーデン案内図」公式HPより

- ・利用者の動向：来場者数/ 5～10月で8万人、通年で11万人
四季別 / 6、9、10月の土日が多い
外国人 / 2～3割程度
- ・駐車場：53台（ガーデンセンター）

【集約化されたパークセンター機能】

■ パークセンター機能

- ・ガーデン全体の管理棟「ガーデンセンター」は、講習会やイベントの開催、情報展示等のビジターセンター機能を備え、ガーデン交流・発信を担い、市民参加の拠点となっている。
- ・体験学習室は40席を有し、常駐スタッフは5名（正職員1、嘱託職員2名、臨時職員2名）
- ・開館時はガーデンを訪れる方の休憩所として、コインロッカーや更衣室などが利用可能で、ガーデン周辺でランニングや歩くスキーなども楽しめる。



「ガーデンセンター」公式HPより

■ 貸館事業（有料）

- ・体験学習コーナー、調理コーナーは貸出しを行っている。
- ・利用件数は延べ100件以上/年
- ・セミナーや婚活パーティー、障害者福祉施設によるイベント「手話とカフェ」などが開催され、民間に広く参加の門戸を開いている。

■ 開館

- ・1月5日～12月29日
- ・9時～18時（5～10月）
- ・9時～17時（11月～4月）
- ・休館日：月曜日、年末年始



「貸館イベントの様子」公式HPより

【市民との協働によるガーデン管理】

■ ガーデナー・フィールドキーパー

- ・植栽管理のための常駐・季節雇用スタッフ
- ・「ガーデナー」は、草本類の管理のほか、ワークショップやイベントの企画等も担い、ガーデンセンタースタッフ（スタッフ3名、アシスタント2名）による。
- ・「フィールドキーパー」は、高所作業車、薬剤散布などを担い、通年雇用1名、季節雇用10名の体制

■ ガーデンサポーター（北彩都ガーデンサポーターの会）

- ・市民が守り育てるガーデンを目指しているボランティア団体。100名を超える登録がある。安定的な維持の実現に向け、常駐スタッフ（ガーデナー）が調整役となり、固定活動日を設けて、活動を推進している。

■ ガイドボランティア

- ・約1年間ガーデナーの研修を受け、見学ツアーのアシスタントガイドとして活動
- ・令和6年10月時点で9名が登録（主体は4～5名程度）

■ 旭川北彩都ガーデンファンクラブ

- ・寄附金という形で北彩都ガーデンを応援する制度。ガーデンを彩る花々の植替え経費などに使用する。



「除草作業」北彩都ブログより



「ガイドの様子」北彩都ブログより

【様々な主体によるイベント・魅力づくり】

■ 指定管理者が中心に運営するイベント等

- ・ガーデンフェスタ：例年夏と秋に開催し、青空マルシェや収穫体験、スカイランタン、コンサート等を行っている。常駐スタッフ以外にも公園緑地協会から応援職員が来る。
- ・クラフト講座等：定期的に行われる。常駐スタッフのみで対応。
- ・ガーデン号（バス）の運行：直営でフィールドキーパーが運転し、旭川駅南側・アウネの広場を周遊。料金は片道100円

■ 指定管理者以外が中心となるイベント等

- ・まちなかアクティビティ：（一社）大雪カムイミントラDMO主催で例年開催。北彩都ガーデンでカヌーやSUP、自転車等のアクティビティが気軽に楽しめる。
- ・市政イベントの会場：旭川デザインウィーク、食ベマルシェなど

■ ショップ（SHOP Kitasaito Garden）の運営

- ・旭川市が設置した屋外売店「SHOP Kitasaito Garden」が4月～10月に営業している。
- ・スタッフはガーデンセンターとは別に旭川市が直接雇用している。



「ガーデンフェスタ」公式HPより



「まちなかアクティビティ」公式HPより